

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

新潟病院



院長PROFILE

中島 孝 (なかじま たかし)

1983年新潟大学医学部卒業。

1987年～1989年Fogarty Fellow, Biological Psychiatry Branch,

National Institute of Mental Health, National Institutes of Health

(USA)、1991年国立療養所新潟病院神経内科医長、放射線科医

長、臨床研究部脳生理研究室長(兼任)、2004年国立病院機

構新潟病院副院長を経て、2017年同院院長に就任。

日本神経学会専門医・指導医、ヘルスデータサイエンティスト協

会理事、独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員などを

はじめ、下肢装着型補助ロボット (HAL-HNO1) の治験など、

様々な研究開発にも務めている。

どんな年齢、どんな難病でも誠意・思いやり・笑顔で 地域医療とセーフティネット医療に貢献したい

完治しない病気に対してどうアプローチするか。それが当院の一番のポイントであり、現代医療の課題でもあります。当然、セーフティネット医療の価値も重んじられていますが、治らない患者さんどうアプローチすべきかという点を考えながら、日々取り組んでいます。

当院は地域の救急輪番病院でもあるので、地域の患者さんの急変時や、在宅療養中の患者さんが急変した時、救急対応できる病院でなければなりません。院内救急も同じです。医療機器の活用や医学的なスキル向上のためにも救急対応ができる体制が必要で、研修医や看護師の育成のためにも大事だと思っています。地域医療のエリアは柏崎が中心で、急性期医療や救急医療に関してはエリア内で完結できるように努めています。

一方、セーフティネット医療については、県内だけでなく、北海道から鹿児島・沖縄まで全国を対象としています。たとえば、私たちが開発時から関わってきたロボットスーツ「HAL」による機能再生治療は、当院が中心となって治験を行い、治験総括報告書をつくってきました。HALに関しては全国のリーダーであり、新しい発想の難病リハビリに積極的に取り組んでいます。

ここで、若手医師のみなさんに3つ、お伝えしたいことがあります。1つ目は、専門医療とプライマリ・ケア対応を含めて、責任もって患者さんを診れるようになるサポートを当院はしていることです。2つ目は、臨床の現場から新しいEBMをつくる医学者であるという意識を忘れてはいけないということです。

困難なケースに遭遇しても、既存の標準的医療を単に適用するだけではなく、目の前にある問題点を臨床的なクエストとして課題にし、そこを解決していく姿勢を忘れてはいけません。研究する場は大学だけではなく目の前にあります。診療している現場で、患者さんを幸せにするための研究環境を提供しています。

3つ目は診療を続けていくコツの伝授です。臨床現場はある意味魔物で、複数のナラティブが常にあります。たとえば、手術後に患者さんが不幸にもお亡くなりになった場合。ナラティブの1つは非常に重篤だった高齢者をあきらめず、がんばって手術してくれた医療という感謝の解釈です。もう一つは、無理な手術を無謀にもおこない医療事故をおこしたという不十分でずさんな医療という否定的な解釈です。実は、一つの事象の意味はもともと複数あり、通常は語られるときに一つの事実として意味が確定されてしまいます。これが臨床医学の宿命であり、ナラティブベストメディスンの本質でもあります。私達は、どんな状況でも業務を通して前者の解釈が自然になされるように努力する必要があります。これは患者さん・ご家族の希望そのものです。医療の結果・意味は関係性で変わらうことを理解できていないと、患者さんは幸せになりません。今まで、この分野は医師の人格論のみに明け暮れていました。この問題を科学的に理解する方法を知らなければ、通常の臨床業務ですら、医師の燃え尽きの原因になります。当院ではこのことを伝授できれどと思っています。

新潟病院

「こどもとおとなのための医療センター」 DATA

■ 所在地

新潟県柏崎市赤坂町3番52号

<http://www.niigata-nhg.jp/html/index.html>

■ 病床数

350床(一般:118床、重心:116床、筋筋:116床)

■ 診療科目

内科/神経内科/小児科/外科/整形外科(入院患者のみ対応)/脳神経外科/リウマチ科/放射線科/リハビリテーション科/歯科(障害者のみ対応)/心療科

■ 研修の特色

総合診療の研修と専門研修ができます。全職員でチーム医療を行っており、専門領域との交流もさかんです。勤務医でありながら新潟大学医学部大学院への入学も同時に可能です。臨床研修のみならず、研究を行い、専門医と学位の両者の習得の道もあります。学会への参加、論文投稿、研修会参加なども優遇される環境です。



呼吸器装着したままリフト移乗



病棟エレベーターホール



HAL



西鯉波海水浴場

新潟病院のある街

人は優しく食べ物おいしい、そして自然環境もすばらしい街

柏崎市は新潟県中越地方の西端にあり、日本海に面し、佐渡弥彦米山国定公園に指定されています。新潟病院の隣には市民の憩いの場である赤坂山公園があります。赤松を主体とした丘陵地で、園内には小川や散策路があり、市街地や日本海を望むことができます。最新のプラネタリウムがあります。桜の名所でもあり、春には約350本もの桜が咲き誇ります。公園に接して、飯塚謙三氏(柏崎ガス会社創設者)の旧居、松雲山荘には茶道美術館が併設された風情のある日本庭園があり、ライトアップされ紅葉の名所となっています。

柏崎に来たら是非立ち寄ってほしいのが、日本

最大級の売り場面積に日本海の幸を揃えた鮮魚センター、「日本海フィッシャーメンズケープ」です。魚をお土産として直送することもできるし、レストランでの食事はもちろん、浜焼きなども楽しめます。柏崎駅前にはブルボンの本社研究所があり菓子の展示もされています。柏崎は酒どころでもあり越の誉れ、銀の翼、秘蔵酒もろはくで有名な原酒造が駅前にあり、酒彩館では試飲ができます。

柏崎は食べ物が美味しく人柄も優しいので是非いらしてください。

